

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和5年10月発行

広尾町コミュニティ・スクール

広尾っ子応援団だより (No.69)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



頑張れ広尾っ子：応援メッセージの紹介

9月3日（日）、南極観測船「しらせ」が見学できるというので、2年半ぶりに広尾を訪れました。そのまま帰るのも惜しい気がしたので、海岸から本通り、丸山通りを回って、最後に鉄道公園に立ち寄りました。バス待合室の玄関から外を眺めていると、右手の方に自転車に乗った男の子が見えました。「おっ、ヘルメットをかぶってる。子どものほうがちゃんとしてるな〜。」などと思っていると、間もなくして、背丈ほどに伸びた草やぶの中から、腰に刀を差した2人の男の子が現れました。その後、少しの間、3人で何やら話し、周りの様子をうかがうと、またもとの草やぶに消えていきました。あれは、忍び物見の足軽か？本当は別のことをしていたのかもしれませんが、失礼ながら「どうする家康」のシーンと重ね、勝手に空想して楽しんでいました。いずれにしても、コロナ禍で家でゲームをして過ごす時間が増えたといわれる中で、広尾の子どもたちに本来の遊びが戻ってきて嬉しかったです。やっぱり、天気の良い休みの日は友だちと外で遊び回るのが一番ですね。

（町外 60代 男性 9月5日受取）

* * * * *

夕方、車でグリーンパークの横を通ると、小学生や中学生がサッカーの練習をしているのを見かけます。懸命にボールを蹴っていて、頑張っているんだなと感心させられます。今は、スポーツをする子供が減っていると聞きますが、自分の好きなスポーツに挑戦して、健康なからだをつくってください。広尾っ子の活躍を願っています。

（町内 60代 男性 10月4日受取）

第2回学校運営協議会：広尾高校

9月27日に広尾高校の第2回学校運営協議会が開催されました。今年度の重点教育目標「コミュニケーション力を高める」についての中間評価の報告、熟議では広尾高校が新しく取り組む予定の広尾地域学について意見交流を行いました。

〈熟議：広尾地域学で学ばせたいこと〉

（主な意見）

- ・一次産業の学びを料理研究につなげる
- ・養殖漁業 ・防災について ・流通について
- ・自然の豊かさ ・産業による人々のつながり
- ・特産品づくり ・観光全般について 等



重点教育目標を目指す授業より

【広尾中学校：9月15日、3年A組、社会】

単元名「これからの人権保障」の学習で、社会の変化・発展にともなって生まれた新しい人権について考えました。生徒は環境権などの新しい人権について理解を深めたあと、「今後どのような人権があると社会はよくなっていくのか」についてグループで話し合いました。一人一人が積極的に学ぶ姿や考えを進んで堂々と発言する姿があり、中学校が重点としている生徒自身で課題を見いだすことや仲間と協働することがよく意識された授業でした。



【豊似小学校：9月27日、6年生、社会】

単元名「戦国の世から天下統一へ」の学習で本時の課題「天下統一に向けての働きが大きかったのは信長か秀吉か」について考えました。児童は信長派と秀吉派の2つのグループに分かれ、それぞれの武将が果たした役割について調べたことをディスカッションしました。児童一人一人が自分の考えをもって話し合いに参加していました。豊似小が重点としている「自分らしさの発揮」がよく分かる授業でした。

